

・看護要員の割合・配置に係る掲示事項

算出月：2026年2月

□療養病棟入院基本料1＜ふじ病棟＞病床数39床

常時入院患者の数が20またはその端数を増すごとに1以上の看護職員（看護師及び准看護師）を配置、  
入院患者の数が20、又はその端数を増すごとに1に相当する数以上の看護補助者の配置

＜時間帯ごとの配置＞

- ・ 9:00～17:00 看護職員1人あたり患者数8人以内
- ・ 17:00～ 9:00 看護職員1人あたり患者数39人以内

□障害者施設等10対1入院基本料＜すみれ病棟＞病床数37床

常時入院患者の数が10又はその端数を増すごとに1以上の看護職員（看護師及び准看護師）を配置

＜時間帯ごとの配置＞

- ・ 9:00～17:00 看護職員1人あたり患者数4人以内
- ・ 17:00～ 9:00 看護職員1人あたり患者数19人以内

□回復期リハビリテーション病棟入院料1＜さくら病棟／やまぶき病棟＞病床数各43床

常時入院患者の数が13又はその端数を増すごとに1以上の看護職員（看護師及び准看護師）を配置、  
入院患者の数が30、又はその端数を増すごとに1に相当する数以上の看護補助者の配置

＜時間帯ごとの配置＞

- ・ 9:00～17:00 看護職員1人あたり患者数6人以内
- ・ 17:00～ 9:00 看護職員1人あたり患者数22人以内

□回復期リハビリテーション病棟入院料1＜けやき病棟＞病床数37床

常時入院患者の数が13又はその端数を増すごとに1以上の看護職員（看護師及び准看護師）を配置、  
入院患者の数が30、又はその端数を増すごとに1に相当する数以上の看護補助者の配置

＜時間帯ごとの配置＞

- ・ 9:00～17:00 看護職員1人あたり患者数6人以内
- ・ 17:00～ 9:00 看護職員1人あたり患者数19人以内

・身体的拘束の実施割合に係る掲示事項

身体的拘束最小化の基準に係る実施割合の計算方法は、以下の通りです。

$$\left( \frac{\text{直近3カ月間の入院料算定日数のうち、身体的拘束を実施した日数}}{\text{直近3カ月間の入院料算定日数}} \right) \times 100$$

当院の身体的拘束最小化に係る実施割合

算出期間：2026年2月～2026年4月

| 直近3カ月間の<br>入院料算定日数 | 直近3カ月間の入院料算定日数のうち、<br>身体的拘束を実施した日数 | 身体的拘束の<br>実施割合 |
|--------------------|------------------------------------|----------------|
| 17,132日            | 32日                                | 0.18%          |

・回復期リハビリテーション病棟入院料に係る揭示事項

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

算出期間:2026年2月～2026年4月

| 直近3か月間の退棟患者数 | 1月  | 2月  | 3月  |
|--------------|-----|-----|-----|
|              | 19名 | 34名 | 31名 |

| 患者の構成                                                                                            | 1月  | 2月  | 3月  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|
| 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態 | 10名 | 23名 | 24名 |
| 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態                                           | 3名  | 3名  | 4名  |
| 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態                                                    | 1名  | 2名  | 2名  |
| 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態                                                                | 2名  | 3名  | 2名  |
| 股関節又は膝関節の置換術後の状態                                                                                 | 3名  | 2名  | 1名  |
| 急性心筋梗塞、狭心症発作その他旧姓発症した心大血管疾患又は手術後の状態                                                              | 0名  | 1名  | 0名  |
| 上記に準ずるもの                                                                                         | 0名  | 0名  | 0名  |

直近のリハビリテーション実績指数

算出期間:2026年2月～2026年4月

|                                                                         |      |
|-------------------------------------------------------------------------|------|
| 前月までの6か月間に 復期リハビリテーション病棟を退棟した 復期リハビリテーションを要する状態の患者数                     | 168名 |
| 上記のうち、実績指数の計算対象とした患者数                                                   | 128名 |
| 上記の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和(①)                     | 2869 |
| 上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた 復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和(②) | 48.5 |
| 実績指数(①／②)                                                               | 59.2 |